

CWS CLUBS NEWSLETTER 2017年4月号 発行:CWS CLUB

THE WHEELS VIEW

〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町1-11-19 TEL 0422-28-7787

CWSクラブに入会すると自動的に自転車保険に加入します。
入会は吉祥寺店・池袋店・高田馬場店で随時受付けています。
安心して自転車を楽しみましょう。

<http://www.c-w-s.co.jp> クラブのページも見てね!



雲取山 2016年9月

東京都・山梨県・埼玉県に跨り、東京都最高峰の山としても知られる雲取山。力量に応じて様々なコースを選択できます。乗車可能な緩い尾根道は登山者にも人気があり、摩擦を避ける為にも計画からは外したいところ。定番ですが、後山林道を上り、三条の湯を経てきつい登りを味わい頂上を目指します。

日の出と共に、お祭バス停から後山林道を登坂開始です。落石が警告されているので、注意が必要。三条の湯でトイレ(有料)と水の補充を済ませたら、広葉樹の茂る水無尾根の細道を登って往きます。**2日前の台風10号はこの登山道にも傷痕を残しており、小規模な沢渡りの出現にはじまり、大規模な崩落にまで至ります。**



自転車を置けるほどの広さがある三条ダルミでしばし休息をとりますが、台風一過の日差しは容赦なく体力を奪います。あとは頂上まで担いでひたすら登るばかりですが、これまでの傾斜以上にきつい足運びとなります。日頃の不摂生への後悔が口をついて出てきたところで頂上の一角に辿りつきました。お祭バス停を発って7時間が経過しています。

時間に余裕があれば、尾根道を辿るコースで下りたいところですが、今回はピストンで戻ります。往路でつぶさに路面をチェックしていたので、復路の乗車率は飛躍的に向上しますね。強烈な日差しも山の稜線に隠れ、あとは青梅街道をひたすら東へ進むばかりです。

この記事、12月号か1月号にでも載らないかな？なにせ、雲取山の標高は**2017,1~~1~~**ですから。編集部さんの裁量任せですね。

あ！それはね～
気がつかなかったのよ～



ブログに本文掲載 <http://blogs.yahoo.co.jp/hitofumi300/14368418.html>

レポーター:ひばりが丘駅前 そば処柳屋 店主伊藤秀継



今回は、台風のあと2日後という事で、沢の増水・登山道の崩落などがあつたようです。一般的には大雨の後は1週間程度は山に入るのは控えましょう。大量に降った雨水が沢から流れ、地下水になり水系が安定するのは1000m級の山でも3～4日は必要です。登山道が安定しているように見えても、岩が浮いていたり土が緩んでいることはよくあり、倒木などもあります。十分な注意が必要です